

2017 春季生活闘争・妥結情報

2017.7.5—第20号— 連合北海道 春季生活闘争本部

2017 春季生活闘争 回答集計結果について

連合本部は、2017 春季生活闘争につき7月3日（月）午前10時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り報告（最終報告）した。

- 2017 春季生活闘争の最終回答集計を実施した。「底上げ・底支え」「格差是正」に重点を置いて月例賃金にこだわった闘争を進めた結果、6月末時点で約8割の組合が妥結に至った。
- 「底上げ・底支え」がはかられ、特に300人未満の中小組合は昨年同時期を上回る結果を引き出した。2016 春季生活闘争から提起してきた「大手追従・大手準拠などの構造を転換」する運動が浸透してきたものであり、賃金水準の規模間格差是正に向けて確実に前進した。
- 非正規労働者の賃上げ（時給）は、連合が集計を開始して初めて20円を超えた。昨年同時期を3円以上上回り、率換算（連合試算）で正規の賃上げを超えている。雇用形態間の処遇格差是正に向けて、真剣な取り組みが行われたことが窺える。正社員転換・無期転換など雇用確保の取り組みも大きく前進している。
- 「所定労働時間短縮の取り組み」件数が1000件を超えるなど、ワーク・ライフ・バランス実現に向けて、労使が職場実態を踏まえた真摯かつ前向きな交渉・協議を進めてきたことが読み取れる。

連合北海道における7月4日までの集計では、妥結報告は199組合。月例賃金の加重平均では、妥結額5,109円（定昇・ベア込み）で、昨年同時期の4,902円を207円上回った。

【組合規模別賃上げ状況 2017年7月4日連合北海道集計】

組合規模	集計組合	対象組合人数(人)	加重平均妥結額(定昇・ベア込)妥結率	昨年集計組合	昨年対象組合人数(人)	昨年実績額(定昇・ベア込)実績率	昨年比増減額
～99人	112	4,938	3,616円(1.72%)	134	5,698	3,634円(1.71%)	-18円(+0.01%)
100～299人	45	7,830	4,406円(1.98%)	60	9,868	3,872円(1.72%)	+534円(+0.26%)
300人未満計	157	12,768	4,110円(1.89%)	194	15,566	3,783円(1.72%)	+327円(+0.17%)
300～999人	34	16,474	4,995円(1.91%)	44	21,728	4,732円(1.81%)	+263円(+0.10%)
1,000人～	8	14,544	5,933円(2.12%)	12	26,848	5,649円(2.14%)	+284円(-0.02%)
300人以上計	42	31,018	5,464円(2.02%)	56	48,576	5,258円(2.00%)	+206円(+0.02%)
計	199	43,786	5,109円(1.99%)	250	64,142	4,902円(1.94%)	+207円(+0.05%)

昨年と集計組合に相違があるため単純比較はできないが、300人以下の中小組合の昨年比は+327円となっており、大手組合（300人以上）の昨年比を上回っている。すべての組合が月例賃金の引き上げにこだわった要求を掲げて交渉した結果、賃上げの流れが中小・地場組合にも波及し広がった意義は非常に大きい。

「非正規・未組織労働者の春闘」ともいわれる最低賃金について、北海道最賃審議会がスタートした。7月下旬には各都道府県の最低賃金の目安が示される予定である。連合北海道は、最低賃金の大幅引き上げと10月1日発行に向けて、審議会での発言や各種取り組みを展開していく。